

愛知

※2025年春実施の全国公立高校入試情報は、2024年12月7日現在によるものです。

1. 日程

[連携型選抜]

○面接等

1/30

○合格発表

1/31

[推薦選抜][特色選抜][外国人生徒等選抜][単位制選抜]

○面接・特別検査

2/6(・7)

○合格発表

2/10

[一般選抜・海外帰国生徒選抜]

●学力検査

2/26

○面接・特別検査

・Aグループ 2/27

・Bグループ 2/28

○合格発表

3/11

2. 学力検査

[学力検査]

国語：45分・22点

数学：45分・22点

英語：10分（聞き取り）、40分（筆記）・22点

理科：45分・22点

社会：45分・22点

<110点満点>

※一部で傾斜配点を実施。→「備考」参照。

※面接を実施する高校あり。

※音楽科・美術科・スポーツ科学科・名古屋市立工芸のデザイン科で特別検査を実施。

○英語聞き取りあり。

3. 調査書

[評定の記載方法]

○3年…5段階（絶対評価）

[調査書点の算出方法]

3年重視（3年のみを合計）

9教科×5段階×2倍=90点

<90点満点>

調査書点の名称は「評定得点」

※一部で傾斜配点を実施。→「備考」参照。

4. 合否判定

[調査書と学力検査の比重]

同等が基本

[判定方法](一般選抜)

①海外帰国生徒選抜(実施校)の合格者を決定する。

②海外帰国生徒選抜で合格とならなかった受検者を含めて、一般選抜の校内順位(後述)を決める。

その際、第1志望と第2志望の取り扱いに差をつけない。

③各校の校内順位を県教育委員会の電算機に登録。

④県教育委員会が作成した合格候補者等名簿を基に、合格者を決定する。

第1志望校・第2志望校ともに募集人員内である受検者については、第1志望校の合格候補者とする。一方、第2志望校では余裕の生じた人数分を校内順位に従って繰り上げ、合格候補者とする。

〈校内順位の決定〉

各高校が選択した次のⅠ～Ⅴいずれかの方式で得られた数値を基礎資料とし、実施した場合は面接・特別検査の結果等の資料も加えて、総合的に行う。その際、調査書のその他の記載事項を十分に尊重する。

Ⅰ…評定得点+学力検査合計得点

Ⅱ…評定得点×1.5+学力検査合計得点

Ⅲ…評定得点+学力検査合計得点×1.5

Ⅳ…評定得点×2+学力検査合計得点

Ⅴ…評定得点+学力検査合計得点×2

※「備考」参照。

5. 推薦入学等

推薦選抜・特色選抜・外国人生徒等選抜・単位制選抜は、互いに併願できない。

■推薦選抜

全高校・全学科で実施。当該学科を志望する動機・理由が明白・適切で、中学校長の推薦を得た者を対象とする。

農業に関する職業に就く意志を有し関連の学科に出願する者は「農業経営状況」、水産に関する職業に就く意志を有し関連の学科に出願する者は「水産業経営状況」を登録する。音楽科への志願者は「専攻別演奏曲目」を、スポーツ科学科への志願者は、「選択希望種目」・「スポーツ庁制定新体力テストの総合評価」・「運動分野での活動実績」を届け出る。音楽科の声楽専攻志望者は任意の独唱曲の伴奏用楽譜を、打楽器専攻志望者で小太鼓を

選択する者は任意の独奏曲の楽譜を提出する。

[検査内容]

面接，《特別検査(実技検査)》

※特別検査は、音楽科・美術科・スポーツ科学科・名古屋市立工芸のデザイン科で実施。
国際英語科・国際教養科，国際探究科でも実施することがある。

[募集人員に対する比率]

○普通科…10～15%程度

○専門学科・総合学科・全日制単位制…30～45%程度

※「人物が優れており，恵まれない環境を克服し，向学心に富み，生活態度が他の模範となる者」の枠が，各学科の募集人員の約5%ある（上記の定員枠に含まれる）。

■特色選抜

高校・学科の特色を生かした選抜。

進路目標や志望校・学科への意欲，関連分野での能力・実績などを重視して，音楽科・美術科以外の一部の高校・学科で実施する。

志望理由を登録する。

スポーツ科学科への志願者は，「選択希望種目」・「スポーツ庁制定新体力テストの総合評価」・「運動分野での活動実績」を届け出る。

プレゼンテーションを実施する高校を志願する者は，プレゼンテーションの発表資料を提出する。

[検査内容]

面接・《作文，基礎学力検査(国・数・英の基礎的な内容)，プレゼンテーション，特別検査(実技試験)から1つ》

[募集人員に対する比率]

20%程度まで

■全日制単位制選抜

中学校第2・第3学年のいずれか又は両方で，年間欠席日数が30日程度以上の者を対象とする。

[実施校]

守山・武豊・豊野・幸田・御津あおばの普通科，佐屋の農業科・家庭科，中川青和のキャリアビジネス科

[募集人員に対する比率]

20%程度まで

[検査内容]

面接，《作文，基礎学力検査(基礎的な内容の国・数・英)，プレゼンテーション》

■連携型選抜

一般選抜に先立って実施する。

志望理由を登録する。「中高連携のもとに行われる学習のまとめ」を提出。

[実施校]

福江の普通科，新城有教館作手校舎の人と自然科，田口の普通科・林業科

[検査内容]

面接、「中高連携のもとに行われる学習のまとめ」の発表

■外国人生徒等選抜

[実施校]

名古屋南・小牧・東浦・衣台・安城南・御津あおばの普通科，豊田工科・豊川工科の工業科，中川青和のキャリアビジネス科，岩倉総合・知立・豊橋西の総合学科

[募集人員に対する比率]

5%程度

[検査内容]

学力検査(基礎的な内容の国・数・英，漢字にルビ付き)，面接

6. 備考

全ての課程で Web 出願を導入。

一般選抜でも，音楽科への志願者は「専攻別演奏曲目」を，スポーツ科学科への志願者は，「選択希望種目」・「スポーツ庁制定新体力テストの総合評価」・「運動分野での活動実績」を届け出る。音楽科の声楽専攻志望者は任意の独唱曲の伴奏用楽譜を，打楽器専攻志望者で小太鼓を選択する者は任意の独奏曲の楽譜を提出する。

※全ての選抜の結果，合格者が募集人員に満たない高校・学科で，第 2 次選抜を実施する。

■海外帰国生徒選抜

一般選抜と同日に実施。

[実施校]

昭和・中村・豊田西・岡崎西・豊橋東の普通科，名古屋市立名東の国際英語科，千種の国際教養科，津島・刈谷北の国際探究科

[募集人員に対する比率]

○普通科…10%程度まで

○専門学科…30%程度まで

[検査内容]

一般選抜の学力検査，面接

(学力検査のうち，国・数・英を選抜資料とする。)

※合格とならなかった受検者は，社・理を加えた 5 教科の成績で，一般選抜の校内順位を決定する。

[通学区域]

普通科は尾張・三河の 2 学区。尾張学区を第 1 群と第 2 群に分け，3 群とする。専門学科・総合学科は全県 1 学区。

その通学区域・群分けごとに，すべての高校を A・B の二つのグループに分ける。

A・B グループ双方 1 校ずつへ出願できる。

2 校出願の場合は，一方を第 1 志望，もう一方を第 2 志望とする。ただし，普通科は同じ群内の A・B グループから選択する。

[調査書傾斜配点]

- 音楽科…音楽×1.5
- 美術科…美術×1.5
- スポーツ科学科…保体×1.5
- 国際英語科，国際教養科，国際探究科…英語×1.5

[学力検査の傾斜配点]

- 国際英語科，国際教養科，国際探究科…英×1.2
- 全日制単位制高校…得点の高い3教科×2→5教科の得点を合計した点(最高176点)を最高110点に換算。

[校内順位IV実施校]

中川青和，小牧工科，一宮起工科，半田工科，半田商業，東海樟風，岡崎工科，岡崎商業，一色の生活デザイン科，豊橋工科，豊川工科，三谷水産，田口

[校内順位V実施校]

旭丘・一宮・豊丘・国府・市立桜台の普通科，明和，千種，瑞陵の普通科と理数科，松蔭，昭和，名古屋西，熱田，中村，天白，名古屋南，旭野，江南，小牧南，新川，西春，一宮西，一宮南，一宮興道，津島，五条，半田，半田東，横須賀，東海南，豊田西，豊田北，岡崎，岡崎北，岡崎西，刈谷，刈谷北，安城東，西尾，知立東，時習館，豊橋東，市立菊里，市立向陽，市立名東